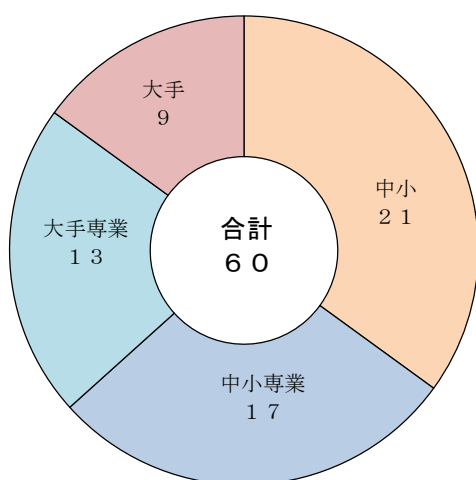


2 船用工業の現況

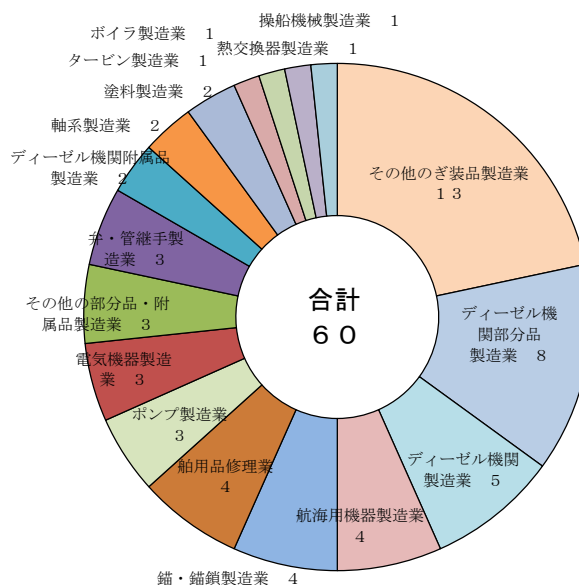
(1) 船用工業事業所数

管内の船用工業事業所数は60事業所で、このうち、中小企業（資本金1億円以下の事業者）の事業所数は38事業所であった。

第4図 資本金別・船用比率別事業所数
(平成28年12月31日現在)



第5図 業種別事業所数
(平成28年12月31日現在)



注) 船舶用機関又はぎ装品（これらの部分品・附属品を含む）の製造又は修繕のための事業所（工場）を有し、常時5人以上の従業員を使用している事業所。造船法に基づく報告書をもとに作成しているため、提出状況により変動がある。「専業」とは、船用比率が50%を超えるものをいう。

(2) 船用工業の実績

(ア) 生産動向

平成28年の管内船用工業製品の生産額は、対前年比8.9%減の1,903億円となった。

品目別で生産額が増加した製品は、次のとおりである。

係船・荷役機械 38億円（前年比 41.1%増）

船用内燃機関 751億円（前年比 4.1%増）

品目別で生産額が減少した製品は、次のとおりである。

軸系及びプロペラ 77億円（前年比 26.2%減）

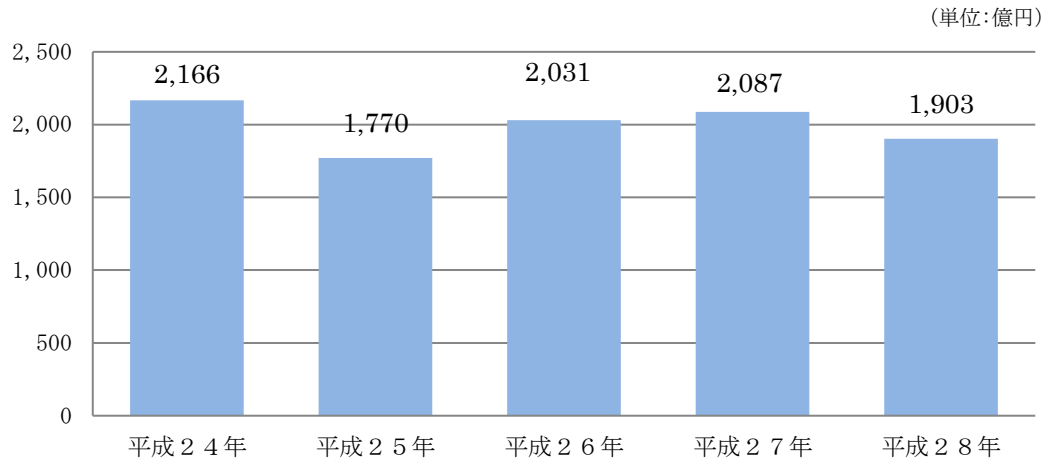
航海用機器 247億円（前年比 22.9%減）

部分品・附属品 500億円（前年比 17.9%減）

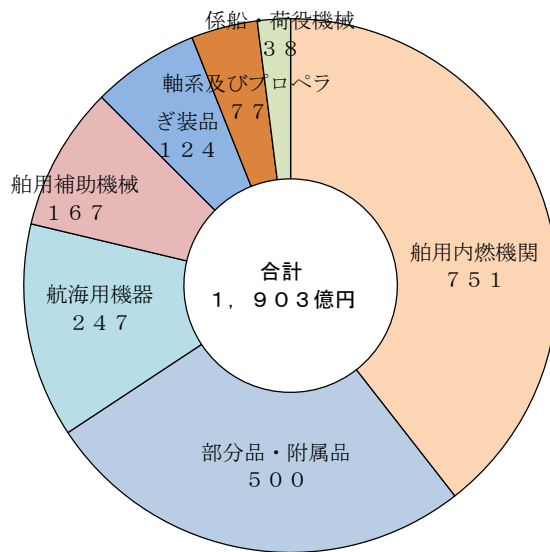
船用補助機械 167億円（前年比 8.1%減）

ぎ装品 124億円（前年比 2.1%減）

第6図 生産実績の推移



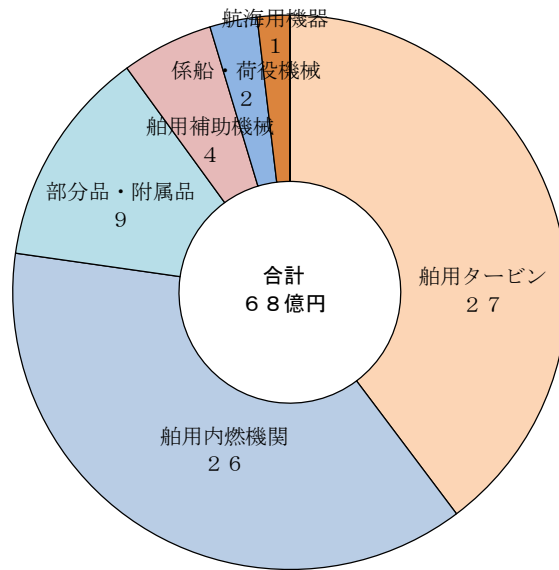
第7図 平成28年 品目別生産実績



(イ) 修繕動向

平成28年の管内船用工業製品の修繕額は、対前年比6.5%減の68億円となった。

第8図 平成28年 品目別修繕実績



(ウ) 輸出動向

平成28年の管内船用工業製品の輸出額は、対前年比3.7%減の893億円となった。

品目別で輸出額が増加した製品は、次のとおりである。

部分品・附属品 178億円 (前年比 20.8%増)

船用内燃機関 343億円 (前年比 16.4%増)

品目別で輸出額が減少した製品は、次のとおりである。

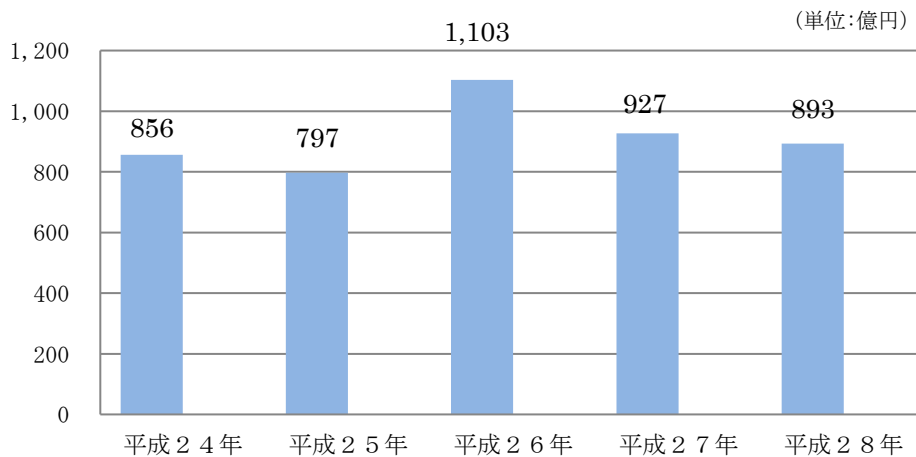
軸系及びプロペラ 8億円 (前年比 63.5%減)

ぎ装品 2億円 (前年比 28.4%減)

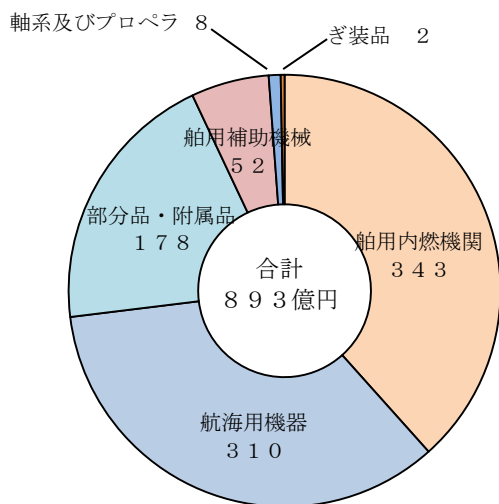
航海用機器 310億円 (前年比 23.6%減)

船用補助機械 52億円 (前年比 4.3%減)

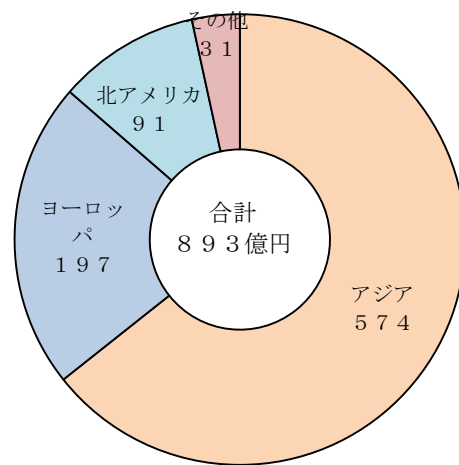
第9図 輸出契約実績の推移



第10図 平成28年 品目別輸出契約実績



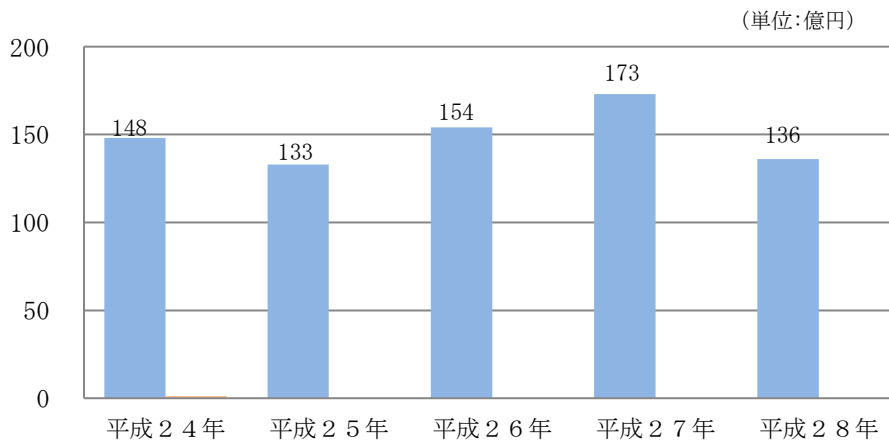
第11図 平成28年 地域別輸出契約実績



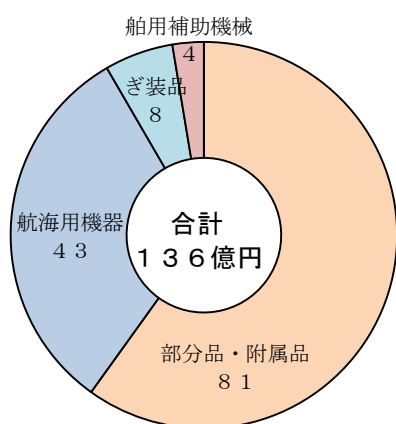
(エ) 輸入動向

平成28年の管内船用工業事業者による船用工業製品の輸入額は、対前年比21.2%減の136億円となった。

第12図 輸入実績の推移



第13図 平成28年 品目別輸入実績



第14図 平成28年 地域別輸入実績

